

### 【参考1「実践の概要」】

- (1) 単元名:「ともに生きるために～おじいちゃん・おばあちゃんと仲良し大作戦!」
- (2) 実施期間:平成17年9月22日～平成18年3月9日(約6ヶ月間)
- (3) 実施時数:49時間(総合的な学習の時間を活用)
- (4) 対象児童:4年2組 29名(男子13名、女子16名)
- (5) 交流先:日の出町老人会「緑会」(学区内の団地にある)  
4学年の他の2クラスは、別の老人団体と同時並行で交流した。

### 【参考2「単元のポイント」】

単元で大切にしたこと

- (1) 地域の高齢者とのふれあい
- (2) 相手のことをよく考える
- (3) 振り返りの時間

### 【参考3「メイン学習とつなぎ学習の流れ」】

ステップ	時数計	学習内容
つかむ	1・2・3	児童の祖父母について考える お年よりに対するイメージアンケート 学習ファイル作り 高齢者疑似体験用具の試着
	4・5	《学年実施》地域の名人(高齢者)を呼んで話を聞く (着物づくり名人、尺八名人)
	6	名人講師への礼状書き、振り返りカード作成
	7・8	《学年実施》高齢者疑似体験
	9	振り返りカード作成 プリント学習(お年よりとの接し方) 次回老人会との交流のゲームを考える、グループ分け
	10・11	老人会との交流(団地集会室) (ゲーム、折り紙を教わる)
	12・13	老人会パートナーへのインタビューを考える(班活動) パートナーの名札づくり
	14・15	老人会との交流(団地集会室) (インタビュー、折り紙を教わる)
	16～20	「パートナーともっと仲良くなる計画」をたてる。 (班でアイデア出し クラス全体で意見交換 班で計画シート作成) 学習発表会の招待状作り
	21・22	老人会との交流(団地集会室) (パートナーへ計画相談、手芸を教わる)
むかう	23～25	もっと仲良くなる計画の準備(班活動 クラス意見交換) 交流給食会の招待状作り
	26・27	老人会との交流(団地集会室とその周辺) 仲良くなる計画を班ごとに実行～班別内容:散歩、折り紙を教える、昔遊び、ドッジボールなど、パートナーの立場に立ち配慮・工夫する。

い か す	28～30	振り返りカード プリント学習（高齢化社会について）、DVD学習（お年よりの暮らし） 交流歓迎会・給食会の班別分担決め・準備 パートナーへお礼の手紙を書く
	31・32	老人会との交流（団地集会室） （パートナーから昔の話を聞く、似顔絵プレゼント）
	33・34	振り返りカード、パートナーの昔の話を紹介 次回交流歓迎会・給食会リハーサル
	35	老人会との交流（学校） （交流歓迎会と給食会、全員で手紙の交換）
	36	振り返りカード、パートナーへ年賀状を書く
	37～41	「共生社会のために自分ができること」を考える（シート） お年よりに対するイメージアンケート 「自分ができること」から「みんなでできること」を話し合い決めた （共生社会の大切さを訴えるチラシ・ポスターを作って地域に伝えたい）
	42～46	班ごとにチラシ・ポスター作成
	47	地域でチラシを設置してくれる協力店・施設を考える。 代表児童が設置しに行く（放課後：担任も同行しビデオ撮影）
	48・49	全員でチラシ設置のビデオを見る チラシ・ポスター設置場所からの反響・感想を共有する 学習のまとめ

網掛け 印の学習内容は「メイン学習」、その他の学習内容は「つなぎ学習」



（写真１）振り返りのための  
福祉学習ファイル（ポートフォリオ）

（写真２）「どうぞよろしく！」

